

2020年4月6日

特定非営利活動法人
「人間の安全保障」フォーラム



提言

新型コロナウイルス危機への対応にあたって 《誰も取り残されないようにするために》

新型コロナウイルス (COVID-19) の世界的大流行により、いまや「健康の危機」というよりも、「人間の危機」ともいえるべき深刻な状況が発生しています。長期化すれば、2030年の達成を目指す持続可能な開発目標 (SDGs) の成果も大きく後退せざるを得ない事態になることが懸念されます。

新型コロナウイルスの危機対応にあたって誰も取り残されないようにするためには、医療関係者をはじめ、政府・地方自治体、企業、教育・研究機関、市民社会団体、個人すべてが連帯感と責任を持って行動することが求められています。

NPO法人「人間の安全保障」フォーラムは、新型コロナウイルスの危機対応にあたって、子ども、女性、失業者、非正規雇用者、高齢者、障害者、日本語が不自由な外国人など、すべての脆弱な立場に置かれている人の命、生活、尊厳が保障されるように、政府・地方自治体が前例にとらわれない大胆かつニーズに合ったきめ細かな措置を速やかに実施するよう求めます。

また、政府・地方自治体と科学者・専門家は、新型コロナウイルス関連の最新の情報を迅速に提供するとともに、わかりやすく丁寧な説明と対話を通じて、国民に対する説明責任を果たすよう求めます。

さらに、効果的な危機対応のためには、諸外国、国連機関などとの協力が不可欠であり、人間の安全保障の観点から、国際協力の一層の強化を求めます。

コロナ危機対応での人間の安全保障の実現

命

脆弱な人々の命を守る。

- 一人でも多くの命を守るために、若者から高齢者に至るまで、すべての人が感染拡大を防止するための慎重かつ責任ある行動を取ることを求めます。
- 最前線で働く医療関係者、基礎疾患のある人々、高齢者、障害者、日本語が不自由な外国人、人との接触の機会が多い雇用者など、特にリスクの大きな人々を守るためには、すべての人の当事者意識と協力が必要不可欠です。

生活

雇用が不安定な人々の生活を守る。

- 脆弱な立場にある人々の生計に関する不安を軽減するために、きめ細かな公的支援を求めます。
- 特に、雇用を最大限守る企業の努力を強く求めます。
- 失業者、非正規雇用者、フリーランサー、自営業者、シングルマザーなどで安定した収入が得られなくなった人が、安心して暮らせるように、大胆な公的支援の拡充を求めます。

尊厳

尊厳のある社会を築く。

- すべての個人が医療関係者や感染者に対する差別や偏見をなくし、公的機関が人権を最大限尊重するよう求めます。
- 子どもたちの教育の機会が等しく保障されるよう、ICT教育の地域格差を解消する公的取り組みを強く求めます。
- 虐待、DV、いじめの増加防止に対する関係当局による取り組みの強化を求めます。